

第 6 号（2011 年度 前期）

# 養寿寺だより

発行日 平成 23 年 7 月 1 日  
 編集・発行 真宗大谷派 養寿寺  
 〒473-0924 豊田市花園町屋敷56  
 TEL&FAX (0565)52-4470  
 E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp  
 ホームページアドレス  
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~n-makino/>

## 『今、私たちにできること』

東日本大震災は、直接被災しなかった私たちにどのようなことを教訓として残したのでしょうか。

地震による津波が東北や北関東の太平洋沿岸部を襲った時から恐ろしい自然災害の映像がテレビに映し出されました。「自然の力を我々は甘く見ていた。」「改めて人間の力の小ささを教えられた。」などとテレビでそれなりの立場の方が語っておられました。正直なところ、教訓としてこのように指摘されても、私は日常の行動をどう変えるべきなのかわかりません。防災意識を高めていくのは良い傾向ですが、豊田市在住の身としては津波の恐ろしさを防災にどう生かしてよいかわかりません。もちろん自然の力を過小評価するのは禁物です。しかし、人間はそれでも科学と技術の力に頼りながら前へと進んでいかざるをえないように思います。

『今、私たちにできること』震災直後から、マスメディアを通じてさかんに語られた言葉です。直接の被害を受けなかった私たちに投げかけられたテーマだと思います。東日本大震災で被害に遇われ今も苦しい生活をしている人が大勢います。必要な食料・物資を送る。義援金を送る。ボランティアで現地の作業を手伝う。被災した方の気持ちに寄り添うことは心の有り様としては大切なのでしょうか、まずは生活支援や復興支援こそが私たちのすべきことではないでしょうか。

心やさしい人は、被災した人の不由な生活状況をテレビで知り、涙を流し、ごはんを食べることや布団の中で

眠ることすら申し訳ないような気持ちになります。そのことの象徴的な行為が、行事や娯楽の自粛です。確かに、苦しんでいる人がなによりに、楽しんで騒ぐのは不謹慎です。だからといって自粛することが被災地の方々のためになるかといえばそうでもありません。例えば、東京で花見の自粛がなされ始めると、被災した東北地方の酒屋さんが、お酒が売れないとますます生活が苦しくなるということで、自粛の自粛を要請したという皮肉な現象も起きています。被災しなかった私たちが、復興に関わる行政や政治を厳しく批判することも被災地の方々の役に立っているとは言えません。また、多くの人は、気持ちがあっても被災地へボランティア活動に出向くことはできません。『今、私たちにできること』はそんなに簡単な問題ではないようです。

東日本大震災は、一瞬のうちに一万五千人以上の尊い命を奪ってしまいました。そして、まだ八千人ほどの



岡崎教区内僧侶の有志が訪れた宮城県被災地の様子

人が行方不明であるとされています。命のはかなさを思い知らされた出来事であったように思います。命は永遠ではないということは誰でも知っています。しかし、明日をも知れぬ命であるという思いで日々暮らしている人は多くありません。むしろ、十年先、二十年先のことをしっかり考えている人の方が多いと思います。今はさておき将来のことを考えて行動することが良いことだとされています。そんな中、一瞬にして多数の人命が奪われた悲惨な現実、身近なところでこのことに接した日本人の多くに何らかの影響を及ぼしたに違いありません。生きることに死ぬことは表裏一体です。「死」を考えてこそ「生」への考察が深まることは異論のないところです。

さて、三月末に春の選抜高校野球大会が行われました。被災地域からの出場もありました。野球をしている場合なのかという葛藤や批判も一部にはあったようです。そのような中で迎えた開会式のことでした。創志学園高校主将の野山慎介さんの選手宣誓は、私たちにできることの一つの方向性を示唆してくれたように思います。

『私たちに今できること・・・生かされている命に感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。』

私たちは与えられた命に感謝しているでしょうか。生きていることは当たり前だという思いは血肉化しています。日々の暮らしの中で、生活に対する不満を口にすることはあっても、今、生きていることを尊いと感ずることはめったにないようです。死が見えにくくなっている恵まれた社会であるが故に、副作用として生きていることのありがたさがなかなか感じられないのか

もしれません。

ちょうどこの春、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が本山で行われました。その法要のテーマは「今、いのちがあなたを生きている」です。当初は、このテーマに違和感を感じていました。しかし、この震災をきっかけにこのテーマが私の心に響き始めました。私の解釈が適切かどうかは別として、『いのち』を私物のようにとらえて、そのことにまったく疑問を持たなかった私の考え方が揺らぎ出したのです。東日本大震災は、この身の厳しい現実を目を向けるきっかけを与えてくれたのかも知れません。今、私たちにできること。それは、与えられた『いのち』の尊さに気づき、『今』を前向きに生きていることだと思います。これこそが、この震災が残した教訓の一つであり、私たちが日常に生かしていくことのできる大切なことではないでしょうか。



東本願寺提供



## 養寿寺不易流行（下）

ふ えきりゅうこう

『不易流行』という言葉、大切な部分を守りながらも、時代に応じて変えていくことと私は解釈しています。お寺の住職として、不易流行の意味すること、心を心の片隅（かたすみ）において、いろいろな試みに取り組むよう心がけています。

さて、かつてお寺には大勢の人が集まったとされています。お寺は宗教施設であるとともに、宗派を越えた公共の集いの場所でもありました。養寿寺はみなさまのご協力で報恩講などの仏事では多くの方が参詣（さんけい）に來られます。しかし、それを除き

ますと、お寺にたくさん

の人が集まることはめったにありません。

お寺の持つ公共性や公益性を考えるならば、人が集まっていただけのようにしなければならぬと考えました。そこで、昨年度から取り組んでいる新しい試み、あるいは計画の試みを紹介いたします。



修正会の様子



除夜の鐘の様子

### 一・除夜の鐘

一年を通じて、一番お寺の境内に人が集まる日は大晦日です。真宗の教義とは少しズレがありますが、多くの方が、除夜の鐘をつこうと十一時過ぎにお寺に集まってみえます。

大晦日には、近くの花園八幡神社でも御神酒やおしるこを振る舞って大変な人出でにぎわっています。これにならない、花園のお寺も、花園仏教世話方の協力を得て、除夜の鐘をつくことと参詣に來られた方のために『養寿寺クッキー』をお配りしました。三〇〇個ほど用意しましたが、三十分ほどですべて捌けてしまいました。多くの方が少し身近にお寺のことを感じていただけたのではないのでしょうか。

本年度も、養寿寺クッキーの配布を予定しております。遠慮無くお参りにお越しください。

### 二・養寿寺の書き初め会

かつて、お寺は子どもの遊び場であったように思っています。けれども今は、年輩の方がお寺に足を運んでくださることはあっても、お子さんがお寺にきてくれることはあまりありません。残念ながら、子どもにとってお寺は魅力的な場ではなくなってしまうようです。それでも、一部のお寺では子どもをお寺に呼ぶご努力をされています。そこで養寿寺も「子どもをお寺へ」を願い、小学生対象にお寺で書き初め会を一月四日に実施しました。これについては花園町で長年にわたり子どもの書道指導に取り組まれてみえる寺田克子様や松原純子様にこの書き初め会に関する技術的なご助言もいただきました。結局、参加者は七名と当初予定したほどの人数は集まりませんでした。ところが期待していた以上に参加者の小学生と保護者の方が真剣に取り組んでおられました。来年も実施していこうと思います。ぜひ、参加をお願いします。



書き初め会様子



作品



表彰式

### 三・お寺でラジオ体操

花園のお寺(養寿寺)主催  
お寺でラジオ体操 (案)

(1) 目的 : ・ 早朝のラジオ体操を通じて生活のリズムをとる。  
・ 小さいお子さまに地域のお寺に親しみをもってもらう。

(2) 場所 : お寺の庭(養寿寺境内) ただし、雨の時は本堂

(3) 期日 : 8月24日水、25日木、26日金、27日土 (4日間)

(4) 内容 : ① 6時25分にお寺に集合  
② 6時30分より ラジオ体操 (第一のみ)  
③ 体操終了後、本堂でお経の練習 (10分)  
④ 出席カードに判を押して解散  
⑤ 午前7時までは必ず終了  
\* お経の練習は自由参加

(5) 申し込み : 参加希望の方は養寿寺まで電話でご連絡ください。  
電話 (0565) 52-4470 (お名前だけで結構です。)

(6) その他 : ① 保護者の方の付き添いは不要です。  
おじいさんおばあさんなど大人の方の参加も大歓迎です。  
② 交通事故には十分注意してください。  
③ 暴風雨警報など警報が発令されたときは中止します。  
④ 棒ジャースが毎回ごほうびとしてされます。

「子どもをお寺へ」の企画・第二弾です。今年の夏休みにラジオ体操とお経の練習をすることを企画しました。右にあるのがその実施要項です。お孫さんや近所のお子さんへの呼びかけをよろしく願っています。

## 東日本大震災への救援金 報告

三月十一日に発生した東日本大震災の被災者の方々への救援金を養寿寺で募ったところ、第一期と第二期で合計、十万三千三百四十二円のお金をご寄付いただきました。みなさまからいただいた尊い支援金は岡崎教務所を通じて被災地の方々に届けられることになっております。有り難うございました。  
今後継続して、被災された方々への復興支援を続けていきますのでよろしく願っています。



### 四・養寿寺だより A3版へ

『養寿寺だより』をご覧いただいた方の感想の中に、「パンチが無い」あるいは、「情報量が少ない」というご意見がありました。そのことを受けて、写真を多くするなど情報量を増やすためにA3版にすることにしました。その一方で、印刷代金が増える分を企業広告を掲載することで押さえることにしました。宗教法人の民活導入・規制緩和と言えるかも知れません。ただし、今後も広告掲載を希望する企業や店舗がいてくださる保証はありません。また、そのようなお店や会社がありましたら、ぜひ、養寿寺に連絡していただくようお願いください。

なお、紙面が大きくなりましたので、さらなる充実を目指し、次回(一月号)より、掲載項目を少し変えていきます。みなさまの原稿や写真も募集しておりますので、この点につきましてもよろしく願っています。



平成二十三年  
養寿寺  
組織一覽表

【敬称略】

住職（代表役員） 牧野直人  
坊守（責任役員） 牧野千珠子  
前坊守 牧野友子  
総代（責任役員） 樹神五矢  
総代 樹神 守  
樹神康久  
高田光秋

高岡組門徒会

寺田 勲  
樹神 守

仏教世話方（◎は代表）

男性 ◎今村 久

樹神昭二

寺田和男

寺田富安

坪内 薫

野々山舜詩

樹神豊彦

樹神清治

女性

◎寺田咲子

楠 伸子

樹神真寿美

松原純子

野村とし子

樹神初美

同朋会世話方（◎は代表）

◎寺田佐和

稲垣道子

樹神富子

小山節子

寺田里海

寺田すま子

仏花係

樹神 藤男

（順不同）

仏教世話方の任期は2年です。仏事や仏教に親しんでいただくとともに、役員同士や地域の方との親睦を深めながら、有意義な役であると思っていただけるよう養寿寺として努力していきます。



養寿寺総代・花園仏教世話方

平成二十三年  
年忌  
早見表

|       |     |        |
|-------|-----|--------|
| 一周忌   | ... | 平成二十二年 |
| 三回忌   | ... | 平成二十一年 |
| 七回忌   | ... | 平成十七年  |
| 十二回忌  | ... | 平成十一年  |
| 十七回忌  | ... | 平成七年   |
| 二十二回忌 | ... | 平成元年   |
| 二十七回忌 | ... | 昭和六十年  |
| 三十三回忌 | ... | 昭和五十四年 |
| 三十七回忌 | ... | 昭和五十年  |
| 四十三回忌 | ... | 昭和四十四年 |
| 四十七回忌 | ... | 昭和四十年  |
| 五十回忌  | ... | 昭和三十七年 |

年忌法要のことはもとより、ご自宅の仏壇のこと、お布施のことなどご相談いただくことも仏教に触れていただくことに通じると思えます。遠慮無くご相談ください。

昨年一月から今年六月までの  
主な行事 ご報告

一、蓮如忌 三月二十六日・二十七日

御志納いただいた方は一八三名

御志納総額は四十九万三千元

落語は大いに盛り上がりました。好評につき

き来年度も実施する予定です。



蓮如忌 『蓮如落語』 笑福亭仁智師匠



蓮如忌 お勤めの様子

二、花まつり

花園町「ふれあいクラブ」の方々を中心に三〇名ほどの参詣をいただきました。仏教を身近に感じていただくとともに、甘茶と抹茶をお出しし、楽しいひとときを過ごしていただきました。



花まつり（お勤）



花まつり（お抹茶）

三、春の法話会

五月十六日（月）恒例の春の法話会を行いました。七十一名の方に参詣をいただきました。また、仏教世話方（女性）には『おみがき』も行っていました。



法話の様子



おみがきの様子

四、宗祖親鸞聖人七五〇回忌御遠忌法要団体参拝

五月二十四日・二十五日の二日間、岡崎教区高岡組主催『宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要団体参拝および研修旅行』が行われました。養寿寺からは住職も含め三十七名の方が参加されました。





2 日目の研修旅行（比叡山延暦寺）

御遠忌法要直前御影堂内の様子

団体参拝参加者 集合写真

【平成 23 年度 12 月までの主な予定 ご案内】

- 8 月 7 日～9 日  
第 1 日（日）  
第 2 日（月）  
第 3 日（火）

暁天講座（朝 5 時 4 5 分～7 時 0 0 分、 3 日間の参加料 ￥1 0 0 0）  
法話 講師 三重県 西恩寺住職 池田 徹 先生  
法話 講師 西尾市 本澄寺住職 柳野明仁 先生  
法話 講師 豊田市 福祉サービスセンター 所長 久米賢一先生
- 8 月 2 4 日～2 7 日（4 日間）  
9 月 2 日（金）  
9 月 2 2 日（木）  
1 0 月 7 日（金）  
1 0 月 2 8 日～3 0 日  
第 1 日（金）  
第 2 日（土）  
第 3 日（日）  
1 1 月 2 8 日（月）

お寺でラジオ体操 と お経（おつとめ）の練習（朝 6 時 3 0 分～）参加無料  
花園仏教世話方会主催 秋の法話会 講師 岡崎市 本宗寺住職 堀田 護先生  
養寿寺 永代祠堂法要 該当の方にはお寺より法要の詳細と出欠席確認のハガキをお出しします。  
同朋会主催 秋の法話会 講師 西尾市 安楽寺住職 伊奈祐諦 先生  
報恩講  
午後のみ 勤行 法話 講師 養寿寺住職  
午前と午後 勤行 法話 講師 豊田市 守綱寺坊守 渡邊尚子 先生  
午前 勤行 法話 お斎（とき＝昼食〈庫裏にて〉）あり  
午後 音楽法要 法話 午前午後とも 講師 京都府 作家 和田真雄 先生  
真宗本廟（ご本山・東本願寺）報恩講 団体参拝と研修旅行
- 7 月初旬までの申し込みは  
養寿寺まで電話でお願いします。  
Tel 5 2 - 4 4 7 0

参加ご希望の方は お寺まで連絡してください。
- 【基礎からの仏教講座】 場所：養寿寺庫裏 日時：毎月最終日曜日夕方より 参加無料  
6 月 2 6 日（日）／7 月 3 1 日（日）／8 月 2 8 日（日）／ 9 月 2 5 日（日）／ 1 1 月 2 7 日（日）／1 2 月 2 5 日（日）

創業111年

心つながる やすらぎのネットワーク

永田や佛壇店

お仏壇フルセット特別ご奉仕品

品質保証

東本願寺用20号

総高169cm 前巾65cm 奥行61cm

58～380万円台

品質保証

東本願寺用100代

総高183cm 前巾89cm 奥行77cm

120～680万円台

品質保証

東本願寺用200代

総高183cm 前巾89cm 奥行77cm

280～1, 000万円台

品質保証

禅宗・その他宗派20号黒檀

総高165cm 前巾68cm 奥行60cm

36～630万円台

品質保証

禅宗・その他宗派25号紫檀

総高172cm 前巾83cm 奥行70cm

120～450万円台

品質保証

禅宗・その他宗派30号樺

総高175cm 前巾103cm 奥行82cm

158～860万円台

注文仏壇造りませんか？

20号 58万円～

100代 220万円～

200代 280万円～

下取りOK! お引越しプランをご用意しております!!

「お仏壇無料診断キャンペーン」実施中! 詳しくはフリーコール 0120-150-761へ

お仏壇もリフォームして綺麗に! 代々伝わる大切なお仏壇が、新品同様に美しく生まれ変わります。

工場長の五つのこだわり

① 伝統を受け継ぐ仕事で昔の姿を復元  
・末永くおまつりするために金具螺番を新調または補強。  
・時絵は同じ図柄を復元します。

② 洗浄後の厳しい検品で確かな復元作業  
・木地の修復、取り替え、彫刻の復元します。  
・虫食い、鼠のかじり部分も見落としません。

③ 見えない部分も確かな仕事をします  
・金箔は見えない部分もすべて総本金。  
・彫刻の奥も、屋根の垂木までしっかり金箔を押します。

④ 確かな品質をお約束します  
・「永田や品質保証書」をお付け致します。

⑤ うぶ洗いお洗濯も予算に合わせて仕上げます  
・購入後約25年までのお仏壇におすすめします。

自社工場だから安心

〈お洗濯後のお仏壇〉

永田やのお洗濯は八職の修理保証を致しております。

おせんたくの価格表

費用のめやす

3尺仏間用唐木仏壇 3尺仏間用金仏壇 6尺仏間用金仏壇

スーパーエコノミー (びびりかコース) 10万円 30万円 70万円

ご法事前のお客様におすすめです。外金具を外してびびりかコース。

エコノミー (かがやきコース) 60万円 140万円

購入時の美しさをもう一度、うぶ洗いのお客様に最適です。

スタンダード (まんぞくコース) 30万円 100万円 220万円

伝統技を受け継ぐ職人により、見えない部分まで修復。

デラックス (やすらぎコース) 120万円 260万円

漆塗りうるうる仕上げ。厚の金箔は大幅に使用する最高級仕上げ。

※納期は目安です。お急ぎの場合はご相談に応じます。

★お仏間の改造も承ります。

小型仏壇

※高田派用・西本願寺派用のお仏壇も取り揃えています

2.8万円～

仏間の改造もお任せ下さい!

三尺仏間に改造

既存のふすま使用の場合 6万円～

柱・ふすま新調の場合 15万円～

三尺仏間に改造

既存のふすま使用の場合 3万円～

柱・ふすま新調の場合 8万円～

見積もり無料! お気軽にお問い合わせ下さい!

- 4 -